

「中部地域経営会議」の第6回総会で承認された「女性活躍宣言」は次の通り。

女性活躍宣言 (全文)

平成24年12月に発足した第2次安倍内閣の下、政府は、女性の力を「我が国最大の潜在力」として成長戦略の中核に位置づけ、「日本再興戦略」をはじめ、「女性活躍加速のための重点方針2016」を定めた。また、平成27年8月には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」を制定し、同年9月には同法に基づく「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針」を閣議決定している。

このような中、静岡県中部地

域に限らず、地域において女性の果たしている役割は大きく、職業生活ではもちろんのこと、自治会やPTA活動などの地域活動、またNPO活動やボランティア活動など、今日の社会生活においても女性の活躍は欠かせないものとなっている。

しかし、静岡県においては、特に15〜24歳の女性の転出数が転入数を大きく上回っており、平成28年には3060人が転出している。これは進学や就職のためと考えられるが、若い世代

の女性たちが静岡県に戻ってくる、或いはとどまる選択肢を広げるためにも、進学先や就職先を確保する必要がある。

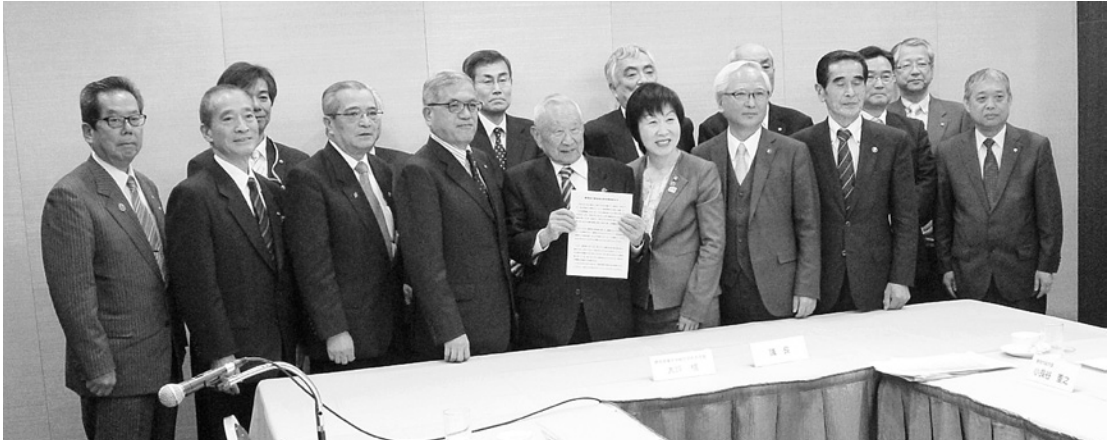
このまま女性の流出が進めば、地域活動や家族生活の停滞もさることながら、若年人口の男女比がアンバランスになることも考えられ、現在も深刻な状況にある晩婚化・非婚化傾向に拍車がかかることもありうる。その結果、少子化がいつそう進み、さらなる人口減少へとつながるおそれも大きい。

一方、少子高齢化、人口減少等人口構造が変化している中で、職業生活における女性の活躍を推進することは、人手不足に悩まされる地域の企業にとって、よりよい人材を確保できる重要な方策であり、地域の労働市場に多大な恩恵をもたらすものである。また、女性が仕事と家庭を両立しやすい労働環境の整備は、業務の見直し等により、生産性の向上にもつながる可能性が期待されることである。

さらに、生活者の視点を持ち合わせている女性たちは、多様化した顧客ニーズに対応する新たなマーケットの開拓や新商品の開発などに貢献しており、その意味において、企業における女性活躍の推進は、その企業の人材の多様性を活かした経営戦略にもつながるものである。

また、女性が働き続けられる環境を整えることは、女性自身が生きがいをもって生活する社会の実現につながるものであり、そのために男女ともに働き方を直すこと、すなわちワーク・ライフ・バランスを実現することとは、男女共同参画が進んだ、成熟した社会をもたらすものである。

こうしたことから、中部地域経営会議では、静岡県中部地域において、産学官が連携して女性が活躍できる社会を実現するよう全力で取り組むことをここに宣言する。



一 私たちは、静岡県中部地域において女性活躍に向けた気運の醸成に取り組みとともに、女性が持てる力を存分に発揮し、活躍できる環境づくりを推進します。

一 私たちは、率先して女性の登用や男女の働き方の改革に取り組みとともに、その取組の輪を地域の企業や団体等へ広げていきます。

一 私たちは、一人ひとりが生きがいをもって充実した生活を送れるようワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組み、働く人それぞれのキャリア形成と人生を応援する「イクボス」の思想を広めます。

一 私たちは、一体となってこれらの取組を進め、女性一人ひとりが活躍し、だれもが輝く、活力に満ちた「静岡県中部地域」の実現を目指します。

平成29年4月5日

静岡市長	田辺 信宏
島田市長	染谷 絹代
焼津市長	中野 弘道
藤枝市長	北村 正平
牧之原市長	西原 茂樹
御前崎市長	柳澤 重夫
吉田町長	田村 典彦
川根本町長	鈴木 敏夫
静岡商工会議所会頭	酒井 公夫
島田商工会議所会頭	岩原 茂雄
焼津商工会議所会頭	久野 匠一
藤枝商工会議所会頭	山田 壽久
中部地区商工会 連絡協議会会長	久保田裕之
静岡大学学長	石井 潔
静岡県立大学学長	鬼頭 宏
静岡産業大学学長	鷺崎 早雄